

R6年間時間外労働時間

朝日小：月平均 25.3時間 昨年度比 - 3.5時間

総勤務時間縮減のための取組みについて

●町の目標

- ① 時間外労働：6年度比各自10～25%の縮減
(R6実績に応じて適切に設定)
- ② 休暇日数：年3日以上増加
- ③ 時間外在校等時間が月45時間を超える者をなくす



●朝日小学校の目標

- ① 時間外在校等時間：令和6年度比 各自 10 %の縮減
- ② 時間外在校等時間が年360時間を超える者 0 人
- ③ 時間外労働が月45時間を超える者 8 人
- ④ 1人当たりの月平均時間外在校等時間 24 時間以下
- ⑤ 1人当たりの年間休暇取得日数 18 日以上

すべての公立学校で統一して取り組む項目

●町の目標

- 朝日町の小中学校で統一する取組
- ① 定時退校日：月に1日以上
：定時退校職員割合80%以上
- ② 会議時間の短縮：60分以内の終了
 - * 終了時間を決めて実施 達成率80%以上
 - * 会議回数の精選



●朝日小学校の目標

- 各学校の取組
- ① 定時退校日：月に 4 日 定時退校職員割合 80 %以上
- ② 放課後に開催して60分以内に終了した会議 80 %以上
- ③ 学校独自の取組：働き方改革(勤務時間縮減)への意識改革

☆ 町教育委員会で取り組むこと

- ◆実施状況の把握と学校への指導・助言
- ◆学校の事務負担軽減 送付文書の削減 調査・報告の精選、方法の見直し
- ◆会議・研修の見直し 会議等、開始・終了時間の見直し 長期休業中の会議、研修の見直し
- ◆効果ある取組の発信 教頭・事務担当者会議等で検証し、課題と改善策等を発信
- ◆部活動指導協力員、校務支援員、スクールサポートスタッフの配置
- ◆統合型校務支援システムの活用に向けての取組

☆ 朝日小学校独自の取り組み

- ・ 全教職員がメモリアル休暇(年休)を、年に1回以上設定し、必ずとる。
- ・ 教職員の働き方の意識改革のために、学校定時退校日(月2回)と学年定時退校日(月2回)を設定し、保護者にも周知する。学年定時退校日を各学年で話し合った上で設定・実施することで、自分たちでタイムマネジメントする意識改革を促す。
- ・ 総勤務時間縮減に向け全職員で取り組むために必要なことを検討・実施する。
 - ※決定した退校時刻に向けたタイムマネジメントを実行させる。
 - ※定時を大幅に過ぎて勤務している職員には管理職が改善に向けた聞き取りを行う。
- ・ 学年毎に発行する学年だよりの月予定を、学校からのお知らせとして一本化し配信する。紙ベースで配付していたお知らせ等も、可能な限りtetoruなどを活用し配信し、印刷・配付の業務削減を図る。
- ・ 教職員による「スクールサポートスタッフ(SSS)の有効活用」の強化、定着を図る。現在のSSSの業務の状況がわかる表示板を活用し、教職員が仕事を依頼しやすくする。また、学年で統一して依頼する業務なども、学年主任を中心に選定し、依頼する。SSSは業務の優先順位をつけながら、仕事ができるようにする。